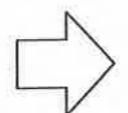


東京都児童福祉審議会提言（案）

虐待から子どもたちを守るために一地域・関係諸機関における対応力のさらなる強化に向けてー【概要説明資料】

現状

- ・児童虐待防止法施行以降、虐待相談件数は増加の一途
- ・対応が困難な事例の増加（一時保護など法的対応の増加）



- ・地域・関係諸機関による虐待の未然防止、早期発見・早期対応、支援の取組を強化
- ・児童相談所や子ども家庭支援センターは、質・量ともに体制強化が不可欠

地域・関係諸機関における取組と課題

地域・関係諸機関における対応力のさらなる強化に向けた提言

1 虐待の早期発見・未然防止策について

1 地域における未然防止策の充実、要支援家庭の早期発見・支援策の推進

- (1) 早期発見に向けた取組
 - ・母子保健事業の活用が非常に有効であり工夫が必要
 - ・子育て支援サービスの場が「虐待を早期に発見しやすいこと」を再認識すべき
- (2) 虐待の未然防止策
 - (虐待ハイリスク群への支援) 子ども家庭支援センターが、子育て支援サービスを活用して支援し、リスクを低減することが必要
 - (育児不安群への支援) 子育て支援サービスのさらなる充実が必要
- (3) ひとり親家庭への支援・女性福祉の視点
 - ・心身の負担感が大きく、子育ての悩みも多いひとり親家庭への支援が必要
- (4) 地域における理解促進
 - ・通告先を知らない都民が7割。「一人ひとりに何ができるのか」という視点が必要

- 【提言1】母子保健サービス等を通じた早期発見・支援の充実
 - ・妊娠届出や妊婦健康診査の受診促進などを包括補助事業等を活用して支援
 - ・区市町村の子育て支援サービス担当職員の早期発見・早期支援のための研修の充実
- 【提言2】在宅の要支援家庭（虐待ハイリスク群）への介入的支援の充実
 - ・「虐待防止支援モデルプラン」を作成し、区市町村に研修等を通じて還元
- 【提言3】育児不安群への支援の充実
 - ・子育て支援サービスの場における保護者への支援策の拡充
- 【提言4】ひとり親家庭への支援の充実
 - ・区市町村のひとり親家庭相談体制の強化等、支援サービスの充実
- 【提言5】児童虐待防止の普及啓発の強化
 - ・区市町村と一層連携し、「オレンジリボンキャンペーン」の推進に注力

2 関係機関連携について

2 地域の関係機関連携の強化による支援体制の充実

- (1) 要保護児童対策地域協議会
 - ・民間団体を含めて地域全体での連携した取組を一層強化する必要
 - ・子ども家庭支援センターは、「調整機関」として、高い専門性が必要
- (2) 児童相談所と子ども家庭支援センター
 - ・ケースの見通しやリスク評価、援助方針について両者間の一部に乖離
- (3) 医療・教育分野
 - (医療機関) 二次・三次医療機関の組織体制整備が必要
 - (教育機関) 関係諸機関との連携を深める必要

- 【提言1】隙間のないネットワークの構築（要保護児童対策地域協議会の強化）
 - ・NPOや地元の病院等を構成機関とするよう努力
 - ・「特定妊婦」、「就学前の子ども」など、対象ごとに実務者会議を開催するなどの創意工夫も必要
 - ・模擬会議などの実践的な研修を行うことも有効
- 【提言2】児童相談所と子ども家庭支援センターの協働体制の強化
 - ・「共有ガイドライン」の作成と「東京ルール」の見直し
 - ・演習型の合同研修、事例検討と検討結果の有効活用
 - ・センター職員の児童相談所への長期派遣、児童相談所基幹職員によるセンターへの支援
- 【提言3】医療、教育部門の対応力強化と相談援助部門との連携強化
 - ・医療機関に対してCAPS設置のための強い働きかけが必要
 - ・スクールソーシャルワーカーは設置地区の拡大を目指す

3 児童相談所と子ども家庭支援センターの機能の強化

3 相談援助部門（児童相談所、子ども家庭支援センター）の機能強化

- (1) 児童相談所
 - (体制強化) ・熱意のある職員を多方面から確保、育成することが重要
 - ・虐待相談の急増により、児童福祉司、児童心理司の業務も増大
 - (人材育成) ・団塊世代の大量退職等により、相談援助スキルの継承が困難
- (2) 子ども家庭支援センター
 - ・困難な在宅ケースの対応には高い専門性も必要。区市町村の対応力に少なからず差異が見られる状況
 - ・組織の核となる基幹職員の育成が課題

- (1) 児童相談所
 - 【提言1】総合力のさらなる向上に向けた人材育成の強化
 - ・OBの活用、OJT、Off-JTを組み合わせた研修、演習型研修の充実
 - 【提言2】ノウハウを有する人材の登用と効率的な組織運営の検討
 - ・福祉職やキャリアを有する者の採用など、多様な確保策を組み合わせ計画的・継続的な採用を
 - 【提言3】児童福祉司、児童心理司の体制強化
 - ・相談援助機能の中核を担う児童福祉司・児童心理司の増員を図るなど体制強化を検討
- (2) 子ども家庭支援センター
 - 【提言1】虐待対応力のためのさらなる体制強化
 - ・虐待対策コーディネーターの配置などの体制強化、スキルアップ研修の充実